

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 3 号

平成30年5月22日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

一人一人がクラスのために 団結力を発揮した校内体育祭

4月26日(木)、前日の雨で埃の立たない、良いコンディションの中で校内体育祭を実施することができました。

本校2年目の私は昨年度の体育祭を見て、その活気ある競技ぶりにたいへん感動を覚えました。特に、2、3年生がクラスの団結力を発揮し、それに引っ張られるようにして3つの小学校から集まってクラスを編制したばかりの1年生が急速にまとまりを見せていく様子が印象に残りました。それで、今年の体育祭もとても楽しみにしていました。



から、一人一人にとってたいへん有意義な大会になったのではないかと思います。

そして、夢中になって出している声が、他の生徒の声とつながってどんなハーモニーを生み出すかという点にも注意して耳を傾けてみました。

3年生の長縄跳びのときに、縄の回し手が、「これが最後の長縄跳びだぞ」と連呼して跳び手を鼓舞します。それに応える声がかぶさって大いに士気が上がっていききました。

3年生にとっては、考えようによって今後のあらゆる機会が「最後の～」になります。一つ一つの機会をこのように大切に、桜のつぼみが膨らみ始めるころには、夢や希望を携えて巣立ってほしいと念じていました。



まず注目したのは、他のクラスメイトのように心は温度が上がらないで競技している生徒はいないかです。全競技を通して、そういう生徒を発見することはできませんでしたか



総 合 成 績

1 年

①7組 ②5組 ③3組 ④4組 ⑤6組
⑥2組 ⑦9組 ⑧1組 ⑨8組

2 年

①5組 ②1組 ③3組 ④2組
⑤6組 ⑥4組 ⑦7組

3 年

①5組 ②4組 ③6組 ④2組
⑤3組 ⑥8組 ⑦7組 ⑧1組

種目別成績(3位まで掲載)

ボール回し

1年 ①4組 ②7組 ③2組
2年 ①1組 ②3組 ③5組
3年 ①5組 ②4組 ③8組

長縄跳び(連続)

1年 ①7組 ②3組 ③9組
2年 ①5組 ②6組 ③2組
3年 ①5組 ②4組 ③6組

長縄跳び(総数)

1年 ①7組 ②6組 ③3組
2年 ①5組 ②1組 ③2組
3年 ①5組 ②6組 ③3組

全員リレー

1年 ①7組 ②3組 ③5組
2年 ①1組 ②5組 ③4組
3年 ①5組 ②2組 ③3組

男子ベストリレー

1年 ①7組 ②5組 ③4組
2年 ①4組 ②5組 ③6組
3年 ①4組 ②5組 ③3組

女子ベストリレー

1年 ①5組 ②2組 ③4組
2年 ①1組 ②5組 ③3組
3年 ①8組 ②6組 ③2組



ひと味違うぞ！中学生



思いがけず、ありがたい手紙が届きました。江戸時代の五街道※を完歩しようと挑戦している滋賀県の男性からのものです。

4月29日昼過ぎ、貴校の近くで部活動帰りと思われる4組（グループ）の生徒さんから「こんにちは」と先にあいさつをいただきました。私は一見して市民でなく、旅行者の装いであったのに、そして実は仙台から東京の日本橋まで歩き通す途中で、疲れた身体には、さわやかなあいさつは嬉しく励みになった次第です。

校庭の横断幕やインターネットで貴校が優れた成果を収められていることも知り、教育の成果の一端を垣間見た思いです。

旅人が取り上げてくれた生徒のあいさつは、家庭教育あってこそその学校教育の成果です。何気ないあいさつがこれほど人の心に響くなんて、なんてすてきなことでしょう。

ちなみに旅人は、今回で五街道をほぼ完歩したと手紙の末尾にありました。

※「五街道」…東海道、中山道、甲州街道、日光街道、奥州街道

授業参観等への参加 ありがとうございました

4月20日（金）の授業参観には1年209名、2年177名、3年144名、合計530名の参加をいただきました。



「活気のある授業の様子を見てとても安心しました」というご意見も頂戴し、さらに充実した学習

活動が展開できる環境や条件が整ってきたと感じています。

また、その後に行われたPTA総会で、本年度の役員が次のとおり決定しましたので、確認の意味でご紹介します。

父母と教師の会

会 長	志波 謙一（3の5）
副会長	安部 覚（3の1）
	深谷 勝俊（3の5）
	根本 悦子（2の4）
庶 務	柳沼さとり（3の4）
会 計	名越 慶子（3の3）

体育文化後援会

会 長	須田 智博（3の8）
副会長	薄井 重伸（3の7）
	原 安弘（3の4）
	大堀 順子（3の1）
庶 務	相楽 勝美（3の2）
会 計	菊地 静子（1の6）

※（ ）内は、お子さんの所属学級です。

交通事故防止 注意の上にも注意を 危険な場所では自転車を降りる判断も

本紙第2号でも「交通事故ゼロ」を呼びかけました。その直後に、自転車による危険な行為を見かけたという地域の方からの情報や近隣で事故が増えているという須賀川市教育委員会からの注意喚起もありましたので、改めて注意をお願いします。

まず一つめは、右図のような場所で交差点の安全を確認しないで直進して自動車や歩行者と接触するケースです。下り坂ではスピードが出ますので非常に危険です。



二つめは、学校（校門）前の道路反対側の狭い坂道です。ここを自転車で下るのは、自転車にとっても自動車や歩行者にとってもかなり危険です。今回、この坂を自転車で通るときは、降りて押して通るように指導しました。また、その際は歩行者とともに右側を一列で通行することが大切です。

このような場所以外でも、自分で危険だと感じたら自転車から降りて歩行する判断ができるような中学生であってほしいと思います。

